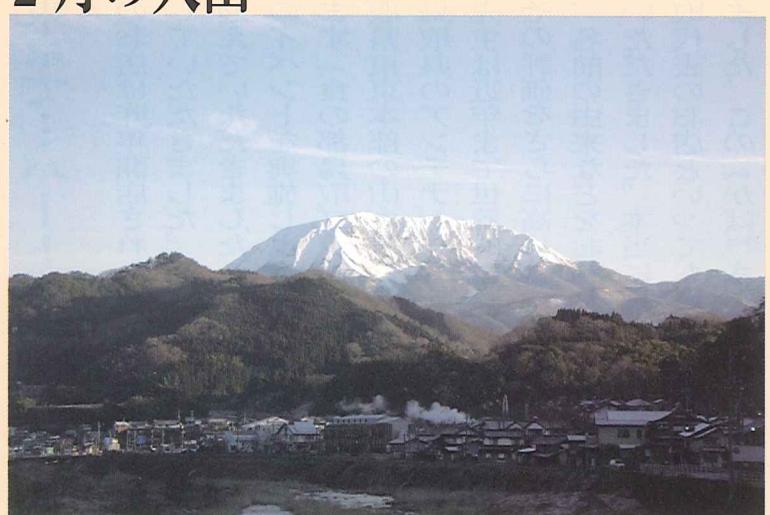


第27号  
はつピーライフ俱楽部通信

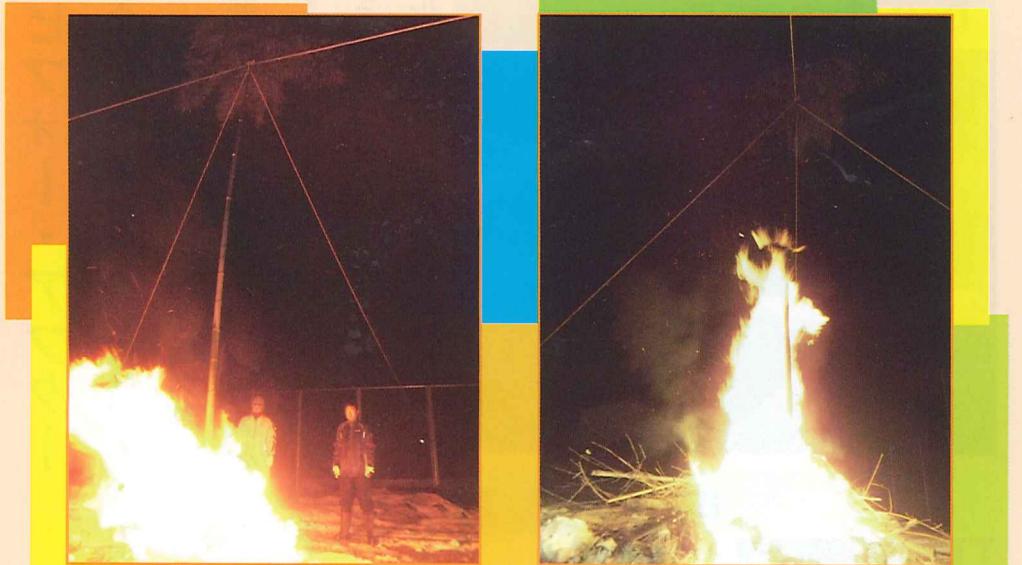
## 会員の皆様へ

季節は暖かい春へと確実に向かっています、天気の良い日に近くの公園や川沿いを歩いてみると木の芽が少しづつ膨らんでいるのを見ることが出来ます。時間は着実に進んでいるのだと思います。一昨年のリーマンショックにより始まつたとされる世界同時不況の脱出に向か新政権の期待と共に今年こそはと想いも新たに迎えた2010年ですが、テレビで繰り返す国会中継には少しばかり残念な気持ちにさせられているのは私ばかりではないと思います。世界に目を向けると大地震や洪水そして大雪による被害を受けられた人々が何十万人にも及ぶと報道されていてわが身の少々の不便や不満を愚痴つてはいけないと知りつつも一日も早く私たち地域で暮らす生活者のための政策を実現してほしいと切に願うこの頃です。しかし私たちを取り巻く環境は一秒を待たず変化します。特に少子高齢化による生活スタイルの変貌はここ数年目を見張るものがあります。弊社では、いち早くこの変化に対応して会員の皆様に安心安全にはつぱーライフをすごしていただくために日々努力を重ねます。お気軽に当社社員に声を掛けて下さい。そして、天気の良い日にはぜひ散歩に出かけてみてください、草木に春の兆しを見つけることができます。春の来ない冬は無いと申します。この不況も必ずあけて可憐な花びらと共に私たちの暮らしも花開くのではと思います。



ます。そして、日本選手団  
が大いに活躍することをね  
がっています。しかし会場  
では、雪不足で開会式直前  
までコース作りが大変だつ  
たそうです。こちら大山の  
スキー場は断続的ながら雪  
にめぐまれ好調のようでし

川端社長



勢いよく燃えるほど年  
来の厄をはらい、本年  
の豊作と人々の繁栄を  
祈るものです。私の地  
域では一月十五日前後  
での実施がだんぜん多  
くこの時期になると早  
朝や日中にあちらこち  
らの空き地や田んぼか  
ら煙や火の手があがり  
ます。焼いたみかんや  
スルメのどこかなつか  
しい味と共にずっと続  
いてほしい伝統です。  
もえろゝもえろゝどん  
どんもえろゝ♪

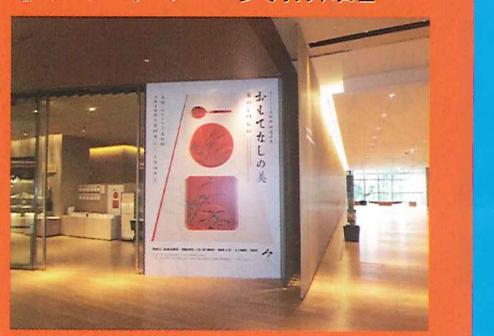
各地のとんどさん

## 鹿島道路様本社にて事業説明 !!

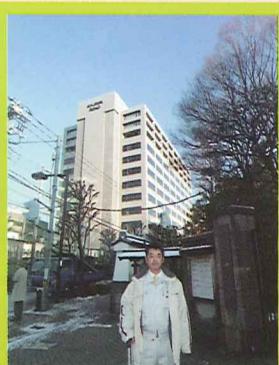


左から染谷様・社長  
加藤様・佐藤様

『サントリー美術館』

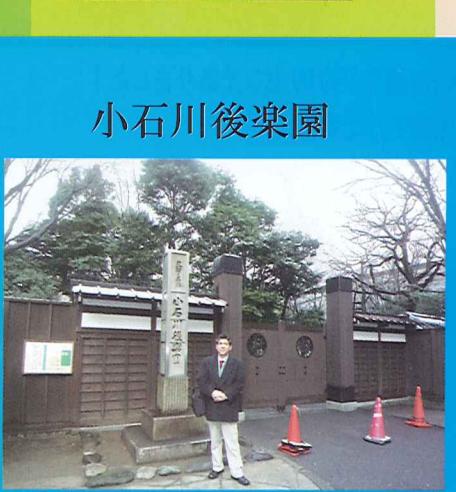


残念ながらこの日は休館日でした。



朋島、又跋林の二社に一

# 東京写真。パート1



## 川端社長 後楽園玄関前にて

東京で…パート1

このほど、弊社社長と私遠藤は営業活動のため東京へ出張しました。これは21年度事業計画の一環で昨年十月より計画していたものです。2月某日深夜長距離バスに乗り込み揺されること9時間半浜松町のバス停に到着しました時計をみると午前6時です。大急ぎで身支度を整え食事をとることにしましたが、その日はたまたま東京には珍しい初雪が降りあちこちでその影響があり食事をとるにも一苦労しました。午前8時半飯田橋にあります鹿島道路様の本社にて、営業の染谷様、加藤部長様、佐藤部長様におにぎり砂や自然薯について説明ご提案いたしました。色々ご質問いただきタジタジなこともありますたが、十分ご理解いただき検討する旨お返事をいただきました。大変嬉しく感激一杯で会社を後にいたしました。写真にありますようにすばらしい本社ビルで、すぐ目の前は東京ドームの屋根がドドーンと広がり、眼下には小石川後楽園の庭園がゆつたりと静かにたたずむ絶好の環境になりました。せつかくの機会ですので社長と東京ドームを見学してから次の目的地まで行くことにしました。歩いてみると結構距離があり普段の運動不足が露呈しました。少し時間にゆとりがありましたので、いつもお世話になつていますサントリ一様の関連施設のサントリ一美術館に立ち寄ることにしました。うつすらと積もった雪の歩道を地図を片手に迷いながらも美術館に到着しました。『おもてなしの美』という展示を楽しみにしていましたが、なな、なんと休館日だとのこと、知らぬことはいえちょっぴり残念でした。せつかくなので美術館横のレストランでとんかつに舌鼓を打ち次ぎの目的地『表参道市場・伝』様に向かいました。パート2に続く：

## 東京で…パート2

このお店は昨年開店された時、縁あって弊社の大山おにさび砂舗装を店舗の床に使用していただきました。開店後には自然薯の販売もお願いしており、この日も温かく迎えていただきました。長時間にわたり今後のことや春には評判の良かった自然薯のイベントを実施しようなど有意義な打ち合わせとなりました。続いて新橋にあります『食の都鳥取プラザ』へと急ぎます、そこには今回大変お世話になりました鳥取県東京本部の山本様と鳥取県出身で建築家の斎木先生がお待ちでした。山本様は鳥取県のアンテナショップ鳥取プラザでも鳥取の产品をPRに努めています。斎木先生は近年まで世界的有名な丹下健三建築設計研究所で活躍され現在は独立してその評価をさらに高めつつあります。その御両名におにさび砂の性能やコンセプト、名前の由来などをお話し東京に鳥取県日野川の砂を広めていただくことをお約束いただきました。本当に長い一日でしたが夕方6時よりバスの時間まで、いまや鳥取代表のお店といつても過言でない居酒屋『かば』さんで歓送会を開いていただきました。この『かば』さんは東京に6店あるそうです。写真のお店では大山鳥と共に大変賑わっていました。皆さんと尽きぬ話で盛り上がり次の再会を約束し、浜松町のバス停から一路江府のインターを目指し長距離バスの人となりました。

サラッとしたおにさび  
砂舗装の床がいいカンジです

東京新橋『食の都鳥取プラザ』



居酒屋『かば』にてかんぱい！

before



after



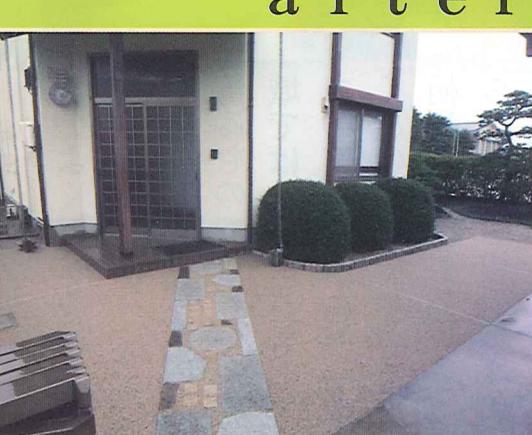
奥田様

米子市の奥田様は童子供養の地蔵様と納骨堂入り口の改修及び防草のためのおにさび砂舗装を施工いたしました。お地蔵様はご住職様よりご丁寧にご供養いただきお役目を新しい地蔵尊へと引き継がれました。とてもお優しい顔立ちにて奥田様もたいそう喜ばれ何回も御礼の言葉を述べていただき大変恐縮いました。

before



after



## ビフォーアフター 岡様邸

米子市にお住まいの岡様は現役を引退されて晴耕雨読の日々ですが、お庭の雑草と落ち葉に困っていました。

展示会で見たおにさび砂舗装を気に入り、今回施工されました。玄関に続くアプローチの石の並びは御主人がイメージをされてご自分で石を並べられました。ご夫婦で楽しまれるゴルフもこれで気兼ねなく出かけられますね。

## 自然薯通信

この冬は断続的に雪が降りました、スキー場などは比較的喜ばれたのではないでしょうか。わが力サラ自然薯君たちを1本1本丁寧に掘り出します。最終は雪が完全に消える三月末まで掘り出します。受験勉強の夜食に進学就職のお祝いに、どうか一度粘り強い雪下自然薯をご賞味ください。標高700メートルの自然薯は一味も二味も違います。



この中に250tの雪が入ります  
この時は積雪が約90センチありました！  
とても寒そうですね。



このくらいの大きさで約600グラムです。  
寒い中掘った甲斐がありました！

## 雪室！今年も詰めさせていただきました

このほど、江府町笠良原にあります、サントリー天然水ブナの森工場様でこの時期の恒例となりました雪室に雪を詰める作業をさせていただきました。これは豪雪地帯の条件を生かして貯めておいた雪のエネルギーを夏場の暖かい季節に利用するものです。エコに関しても他の追随を許さない企業理念が伺えます。素晴らしいですね。作業は遠藤部長とわが社のエース山川主任が担当しました。



この俱乐部通信に対するご意見・ご感想がありましたら、ご一報ください。今後の俱乐部通信にどんどん取り入れていきたいと思います。  
又「新規会員のご入会」や「楽しい情報」がございましたら是非ご連絡ください。工事の相談やご注文も

連絡先

電話番号 0859-751-2124

川端まで